

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年1月9日（火）
- 2 確認箇所
使用済燃料乾式キャスク仮保管設備
- 3 確認項目
使用済燃料乾式キャスク仮保管設備の現況

4 確認結果の概要

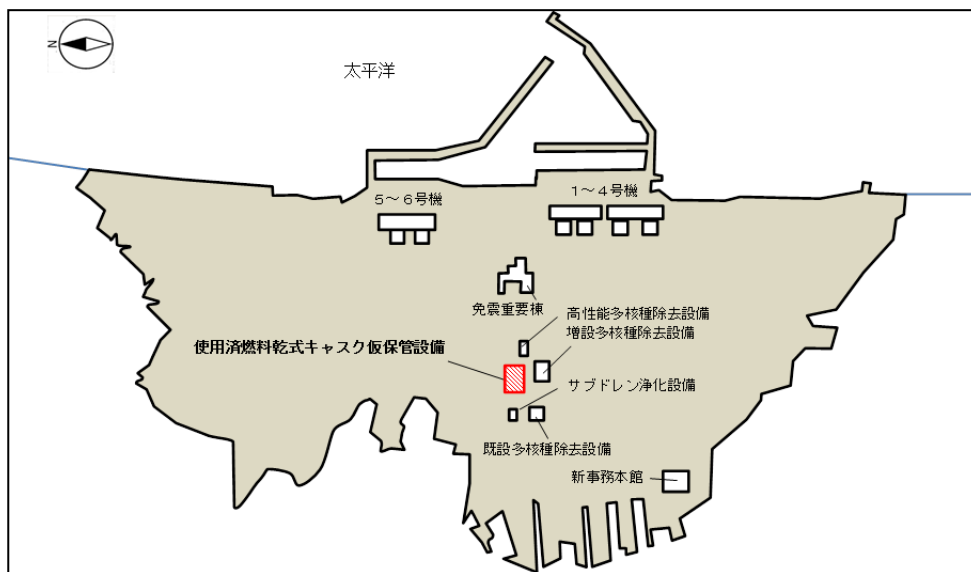
6号機使用済燃料プールに保管されている燃料は、全数共用プールに輸送する計画であり、昨年度燃料取り出しが開始された。（全68回中2回完了）

共用プールにおいては、6号機使用済燃料プールから取り出した燃料を保管するスペースを確保するため、現在保管している使用済燃料を乾式キャスクに装填し、使用済燃料乾式キャスク仮保管設備（以下「乾式キャスク仮保管設備」という。）に移送することとしている。作業が開始されたことから、移送先の乾式キャスク仮保管設備の現況を確認した。（図1）（前回確認日：令和4年6月22日）

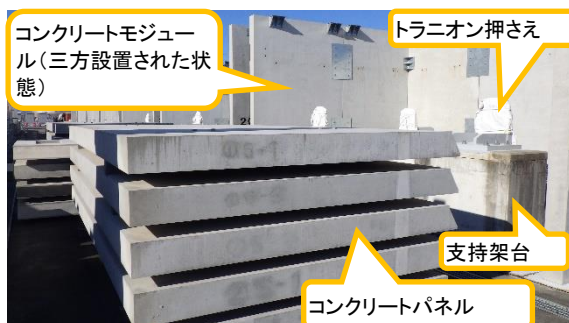
また、乾式キャスク仮保管設備では、敷地東側を拡張する形で保管容量の増設が予定されており、拡張予定箇所の状況も確認した。

- ・敷地南側の第4レーンにおいて、共用プールからの乾式キャスクを受け入れる準備が行われており、コンクリート支持架台やトラニオン^{*}押さえが設置され、コンクリートモジュールを構成する、コンクリートパネルが側面三方組み立てられていた。（写真1）
- ・第4レーンのエリア放射線モニタは、 $0.2\mu\text{Sv/h}$ を指示していた。（写真2）
- ・乾式キャスクをトレーラ荷台から保管場所まで移動するための門形クレーンが設置されていた。（写真3）
- ・敷地東側の拡張予定箇所では、地盤改良の準備作業が行われており、周辺のフェーシングが除去され、樹木が伐採されていた。（写真4）

※ 乾式貯蔵キャスク取扱い時及び仮設保管時の支持のため、吊り上げ及び固定に使用される円筒形の突起



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
乾式キャスクを保管するためのコンクリートモジュール



(写真2)
エリア放射線モニタ



(写真3)
門形クレーンの状況



(写真4)
敷地東側の拡張予定箇所の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。